

大阪PCB廃棄物処理事業だより (No.14)

◎ 大阪市PCB廃棄物処理事業監視委員会の開催について



監視委員会

施設見学

3月17日、大阪事業所（プレゼンテーションルーム）において、第11回大阪市PCB廃棄物処理事業監視委員会（委員長：福永 勲大阪人間科学大学教授）が開催され、弊社から操業状況、環境モニタリング結果及び施設の内部技術評価等について説明しました。委員会終了後、処理施設をご視察いただきました。

◎ PCB廃棄物の受入状況について

PCB廃棄物の受入状況は平成18年10月から平成20年5月末現在で、トランス類が463台、コンデンサ類は7,339台、PCB油が110缶です。これは大阪市内で保管中のPCB廃棄物に対して、トランス類が約36%、コンデンサ類が約66%となります。

（対早期登録等データ比）

◎ 保管事業者説明会の開催について



説明会(左)と個別相談会(右)

大阪市内における説明会の2巡目の最後として、4月4日に北区・都島区の39保管事業者（46名）、4月9日には、中央区の38保管事業者（45名）にご参加頂き、処理手続き・中小企業助成の申請手続等及び個別相談会を実施し、適正処理の推進に向けた取り組みを行っております。今後、近畿2府4県に説明会を拡大し、処理を進める予定にしております。

◎ 消防訓練の実施について

4月18日、此花消防署のご協力のもと、西棟の真空加熱分離装置の活性炭充填室で出火したとの想定のもとに「消防訓練」を実施しました。

この訓練は、弊社と運転会社の各社員が緊急時に迅速に対応できるよう、実施されました。この訓練で確認した初期活動の重要性等を踏まえ、万が一の場合に備え、訓練を重ねていきたいと考えています。



◎ 排水、排ガスのモニタリング結果について

モニタリング計画に基づいて実施した3月の排水及び排ガスの濃度測定において、PCB濃度は維持管理値より低く設定した自主管理目標値を全て下回りましたが、排水全11検体中、1検体（東棟汚水）のダイオキシン類濃度が13pg-TEQ/Lと維持管理値(10pg-TEQ/L)を上回りました。また、排ガス全21検体中、1検体（脱気槽ベントガス）のダイオキシン類濃度が0.12ng-TEQ/m³Nと自主管理目標値(0.1ng-TEQ/m³N)を上回りました。本結果につきましては、大阪市環境局・建設局に直ちに連絡し、立入調査をいただき、排水、排気ともに応急の排出防止対策をとりました。なお再測定の結果、排水は4.3pg-TEQ/L、排気は0.013ng-TEQ/m³Nといずれも自主管理目標値を下回りましたが、今回の結果を踏まえ、原因究明と安全対策の徹底に向けて取り組んでいきます。

◎ 環境フェア in KOBEについて

「北海道洞爺湖サミット」を前に開催される「G8環境大臣会合」にあわせて、5月23日～26日の4日間「環境フェア in KOBE」が、神戸市中央体育館において開催されました（総来場者数 約3万人）。弊社では、パネルの展示、DVDの上映、パンフレット等の配布を行いPCB廃棄物の安全・確実な処理方法などを一般の方々に広く知っていただく良い機会となりました。



◎ ビオトープについて



弊社敷地内のビオトープには、今の季節、花ショウブ（写真①）、卵の花（写真②）、アマリリス（写真③）が咲いており、池にはメダカやカエル（写真④）の姿を目にすることができます。このビオトープは雨水を利用しており、弊社と運転会社の社員やバス待ちの方々の憩いの場となっております。

☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

弊社のホームページを参照または総務課へご連絡下さい。

・自由見学・1階情報公開ルーム（月～金曜日の午前10時から午後4時まで）

・予約見学・1階情報公開ルーム、見学者ホールなど

毎週火、木曜日（午前10時から・午後2時から）

【問い合わせ】 日本環境安全事業（株）大阪事業所

TEL：06-6468-0575

ホームページ：<http://www.jesconet.co.jp>



洲男（しまお）



舞子（まいこ）

☆編集後記☆

平成20年度を迎え、施設は点検年間計画に沿って、5月14日～26日の13日間、小規模点検を実施いたしました。安全確実な処理、安定操業を今後とも行ってまいりますので、皆さまのご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。



☆べん蔵☆



【発行】 日本環境安全事業株式会社

大阪事業所

06-6468-0575

// 営業グループ（弁天事務所）06-6575-5575